

今月のトピックス

- 1 細菌性赤痢やデング熱など、海外での感染症に注意しましょう。

全数把握の対象

【4 月期に報告された全数把握疾患】

細菌性赤痢	1 件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 件
腸管出血性大腸菌感染症	3 件	後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む)	5 件
デング熱	3 件	侵襲性肺炎球菌感染症	13 件
レジオネラ症	5 件	梅毒	3 件
アメーバ赤痢	5 件	播種性クリプトコックス症	1 件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1 件	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 件
急性脳炎	1 件	風しん	1 件
クロイツフェルト・ヤコブ病	1 件		

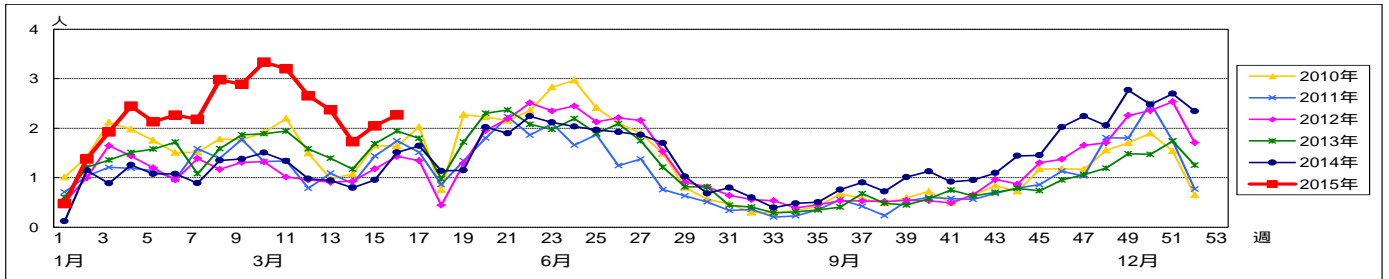
- 細菌性赤痢**: *Shigella sonnei* (D 群) の報告が 1 件あり、渡航先 (フィリピン (セブ島)) での感染が推定されています。
- 腸管出血性大腸菌感染症**: 3 件 (O157VT1VT2 1 件、O157VT2 1 件、O157VT 不明 1 件) の報告がありました。感染原因が明らかになったものではありませんでした。本疾患はこれから夏にかけて例年報告数が増加するため注意が必要です。肉は十分に加熱 (中心部まで 75 で 1 分間以上加熱) し、食品はよく洗い新鮮な材料を使うなど予防対策が重要です。家庭内での 2 次感染予防では、手洗いをしっかりと行い、下痢症状がある人は専用のタオルを使用し、トイレは常に清潔に掃除して、ドアノブ・水洗レバー・電気のスイッチなど手の触れるところは、特に念入りにきれいにするのが大切です。
- デング熱**: 海外感染例が 3 件 (シンガポール、ブラジル (サンパウロ) およびインドネシア (バリ島) での感染) 報告されました。
- レジオネラ症**: 肺炎型 5 件の報告がありましたが、それぞれ明確な感染経路等は不明です。各症例について引き続き感染経路等調査中です。レジオネラ肺炎は市中肺炎の約 5% を占めると言われており、注意が必要です。
- アメーバ赤痢**: 腸管アメーバ症 5 件の報告がありました。そのうち 3 件では国内での経口感染が推定されており、1 件はタイまたは中国での異性間性的接触による感染、残る 1 件は感染経路感染地域等不明でした。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**: 1 件の報告がありましたが、院内集団感染等はありませんでした。
- 急性脳炎**: 1 件の幼児の報告がありました。インフルエンザ A 型による感染が推定されています。
- クロイツフェルト・ヤコブ病**: 1 件の古典型 CJD の報告がありました。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症**: 2 件の報告があり、1 件は 60 歳代で血清型は A 群、もう 1 件は 60 歳代で血清型は G 群でした。
- 後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む)**: 無症状病原体保有者 3 件、その他 2 件の報告がありました。そのうち 2 件は国内での同性間性的接触、1 件は日本またはペルーでの異性間性的接触、もう 1 件は日本またはアメリカでの異性間性的接触、残る 1 件は感染経路感染地域等不明でした。
- 侵襲性肺炎球菌感染症**: 13 件 (70 歳代以上 6 件、60 歳代 2 件、50 歳代 2 件、40 歳代 2 件、10 歳代 1 件) の報告がありました。そのうち予防接種を 1 回接種しているのが確認できたのは 70 歳代以上の 2 件のみで、他は予防接種歴が確認できませんでした。
- 梅毒**: 早期顕症梅毒 期が 1 件 (性的接触による感染)、早期顕症梅毒 期が 1 件 (性的接触による感染)、無症候期が 1 件 (異性間性的接触による感染) の報告がありました。すべて国内での感染が推定されています。梅毒は全国的に増加しており、厚生労働省では注意喚起のために「梅毒に関する Q & A」をホームページに掲載しています。横浜市内でも近年男女とも増加傾向にあり、男性では同性間性的接触、異性間性的接触ともに増加傾向にあります。
- 播種性クリプトコックス症**: 40 歳代男性の報告が 1 件ありました。HIV の感染が確認されています。平成 26 年 9 月 19 日から本疾患が届出対象疾患になっています。

- 14 **バンコマイシン耐性腸球菌感染症**:1 件の報告がありました。院内感染等はありませんでした。
- 15 **風しん**:20 歳代女性の報告が 1 件(検査診断例)ありました。フィリピンでの感染が推定されています。ワクチン接種歴はありませんでした。

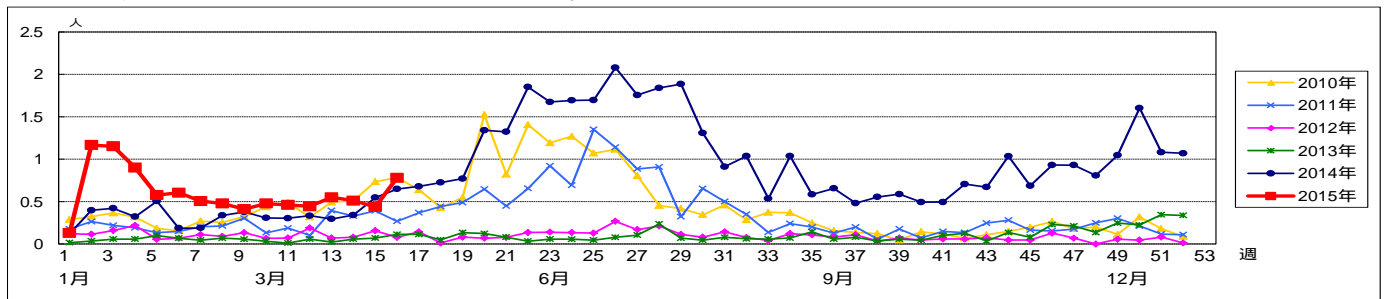
平成 27 年 週 - 月日対照表	
第 13 週	3 月 23 日 ~ 29 日
第 14 週	3 月 30 日 ~ 4 月 5 日
第 15 週	4 月 6 日 ~ 12 日
第 16 週	4 月 13 日 ~ 19 日

### 定点把握の対象

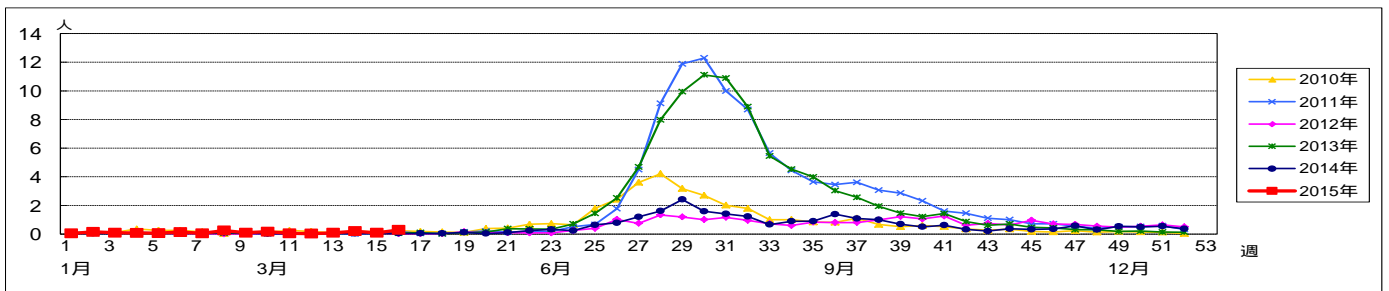
1 **A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**:第 16 週は市全体で定点あたり 2.27 と、例年の同時期と比べて報告の多い状況が続いています。



2 **伝染性紅斑**:第 16 週は市全体で定点あたり 0.78 と、やや増加しました。例年より報告が多い状態で推移しており、今後流行期を迎え注意が必要です。



3 **手足口病**:第 16 週は市全体で定点あたり 0.29 と落ち着いていますが、島根県(5.22)、佐賀県(2.74)などで報告が増加しており、今後の注意が必要です。



- 4 **性感染症**:3 月は、性器クラミジア感染症は男性が 18 件、女性が 18 件でした。性器ヘルペス感染症は男性が 6 件、女性が 5 件です。尖圭コンジローマは男性 3 件、女性が 1 件でした。淋菌感染症は男性が 14 件、女性が 1 件でした。
- 5 **基幹定点週報**:マイコプラズマ肺炎は第 13 週 0.25、第 14 週 0.50、第 15 週 0.00、第 16 週 0.00 となっています。感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)は、第 13 週 1.00、第 14 週 1.00、第 15 週 0.00、第 16 週 0.00 となっています。無菌性髄膜炎、クラミジア肺炎、細菌性髄膜炎の報告はありませんでした。
- 6 **基幹定点月報**:3 月はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 4 件の報告がありました。薬剤耐性緑膿菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の報告はありませんでした。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。  
 横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>